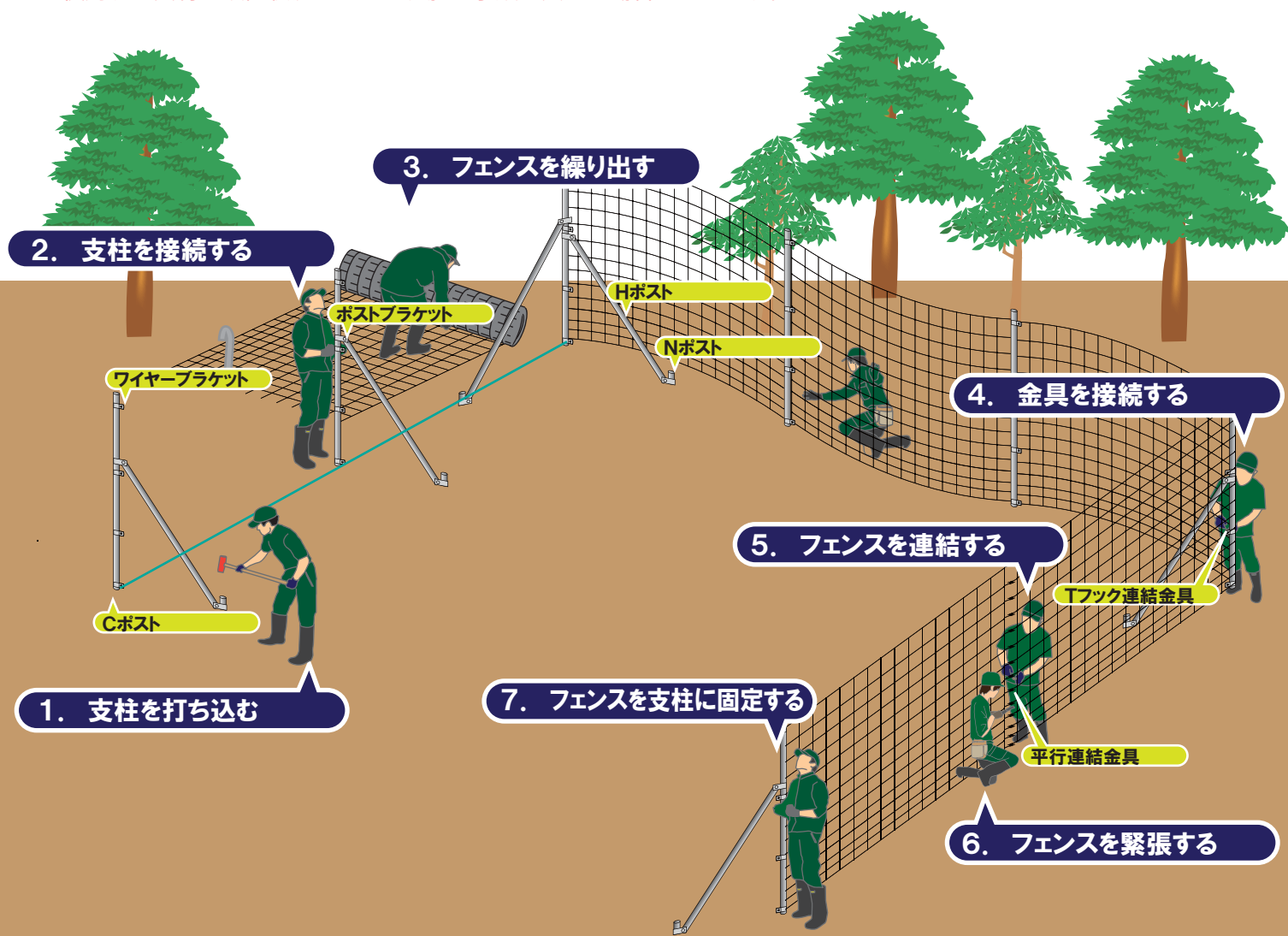


FAR 夢ブランドのフィールドフェンスは自力施工が可能です。ここでは自力施工を行うにあたって、大まかな設置手順をご説明いたします。

※使用する資材や設置状況によって、施工手順は異なる場合があります。



1. 支柱を打ち込む

まず水糸を使って、支柱を打ち込む位置を決めます。打ち込む支柱には地中に打ち込む深さにするしを付けておきます。ランマー（施工道具）やハンマーを使って、支柱をそれぞれ打ち込んでいきます。打ち込みが完了した後、Cポストにはワイヤープラケットをフェンスの横線の位置に仮止めしておきます。



ランマーを使った打ち込み

2. 支柱を接続する

ポストブラケットを使って、Cポスト、Hポスト、Nポストをそれぞれ接続していきます。ポストブラケットを固定する際、径13ミリのラチェットを使います。



ラチェットを使って取付



ポストブラケットの取付

3. フェンスを繰り出す

フェンスを転がしながら繰り出していき、起こしていきます。この時、繰り出したフェンスが戻ってこないように杭などで固定しておく必要があります。

4. 金具を接続する

フェンス始点部と終点部では連結金具を用いて、Cポストにフェンス巻きつけて固定していきます。Tフック連結金具は設置が簡単なだけでなく、解除ピンを使うことで一度入ったワイヤーを戻すことができます。



Tフック連結金具の取付け

5. フェンスを連結する

設置距離が長くなると1本のフェンスでは張りきれません。そのような場合、平行連結金具を用いてフェンス同士を連結することで、延長することができます。Tフック連結金具と同様に、解除ピンを使うことで一度入ったワイヤーを戻すことができます。



平行連結金具の取付け

6. フェンスを緊張する

平行連結ストレーナーを用いてフェンス全体に緊張をかけていきます（右イメージ）。金具を下段から順番に少しずつ緊張をかけていくのがポイントです。

※重機が使用できる場合、緊張ボードという道具を使って、緊張をかけることができます。詳しくはお問い合わせください。



平行連結金具の緊張

7. フェンスを支柱に固定する

最後にワイヤープラケットを使って、フェンスと支柱を固定して完成です。ダイヤモンドポストとの固定は、バググタイを用いると便利です。



ポストブラケットの取付



写真はバググタイ 200mmのイメージ

バググタイの取付

POINT 設置後の注意点

フィールドフェンスは強度や耐久性が高いことに加え、電気柵などの柵と比べ、頻繁な管理をしなくても良いことも大きなメリットといえます。しかし、全く管理をしなくても良いというわけではありません。ここでは、長くフィールドフェンスをお使いいただくためのポイントについて簡単にご説明いたします。



動物が衝突し破損した箇所

① 定期的に見回りを行う

フェンスの歪みや破損を放置しておくと動物がその部分を狙って、侵入するようになり、さらなる破損の可能性があります。破損した箇所はできるだけ早く補修できる体制を作るために、定期的に見回りを行うよう習慣づけましょう。



草が巻きついたフェンス

② 草刈りを行う

草刈などは不要と思われるがちなフェンスですが、ツル性植物などが繁茂しつづけるとその重みで歪みが生じたり、人間側の視界も悪くなり、動物の警戒心を薄れさせてしまう原因になります。「しのび返し支柱システム」の場合は、電気柵の漏電に繋がってしまいますので、必ず定期的な草刈りを行ってください。